

寄稿



久高 政治

1959年6月30日午前10時30分ごろ、整備不良のジェット戦闘機が力デナ基地を飛び立ちました。離陸直後に火災を起し、身の危険を感じた操縦士は脱出し機体を放置しました。操縦かんを失った殺人機は、たけり狂ったかのように真つ赤な炎

らつと希望に満ちた子どもたちの元気な姿を嫌悪するかのようになり、赤い猛獣と化した戦闘機は小学校の近隣住宅を100mもなぎ倒し、小学校へと突っ込みました。

一方で、関係者以外では事故の風化が著しく進んでいます。33年忌も済んでいるのにいつま

に沖縄国際大学に米軍ヘリが墜落炎上したことはこのことを指し示しています。

石川・宮森風化させぬ 過去ではない戦闘機事故

を吹き上げながら標的を探して高度1000mから中部一帯を眺め回しました。

石川市宮森小学校でミルク給食の楽しいひとときに歓声を上げながら教室中を駆けめぐる子どもたち。早々と教室から抜け出し校庭でキャッチボールや縄跳びに興じる子どもたち。はつ

に教室は燃え落ちてしまいました。4年1組の教室は、燃料タンクと思われるものが天井を突き破り、燃料が児童の頭上に垂れ落ちてきました。6年3組の教室にはジェット機のエンジン部分が突っ込み、児童を巻き込み机、椅子をなぎ倒しました。

（石川・宮森630会事務局 長、うるま市、63歳）